令和７年度　学校安全全体計画

宮城県仙台第一高等学校

学校教育目標

教育基本法並びに学校教育法に則り、人格の完成を目指し、社会に対する健全な批判力を養い、自主自立の精神に充ちた心身ともに健康な国家及び社会の有為な形成者を育成する。

＜学校の現状等＞
〇校地が長町利府断層上にあるので、地震被害の可能性がある。
〇大雨時、校地内の低い箇所では浸水の可能性がある。

＜学校の現状等＞
〇学校周辺は道路の幅が狭く、車や自転車、歩行者の通行量が多いので、通学時は注意が必要である。

安全教育の目標等（身に付けさせたい力と心）

〇自らの身を守り乗り切る力
〇知識を蓄え行動する力
〇地域の安全に貢献する力
〇安全な社会に立て直す力
〇安全安心な社会づくりに貢献する力

安全教育及び安全指導の方針等

災害安全	交通安全	生活安全
〇火災・地震・津波発生時における危険について理解し、身を守る行動と安全に避難する方法を身に付ける。 〇災害発生時における避難所の役割を理解し、ボランティア活動等に参加する。	〇交通安全に対する知識・理解を深め、自転車の安全な乗り方と歩行者としての安全マナーについての意識を高めるため、重点的に取り組む。 〇交通安全教室を実施する。 〇自転車点検を実施する。	〇学校・家庭・地域・社会で起こる犯罪や危険について理解し、犯罪に巻き込まれない行動がとれるようにする。 〇不審者に対する適切な対処方法や行動ができるようにする。

家庭・地域・関係機関との連携

父母教師会、連坊地区、仙台市若林消防署
宮城県若林警察署

教職員の校内研修

学校安全計画及び防災マニュアルの理解と役割分担、救急救命法講習会

各教科・行事等

〇保健体育、理科、家庭等の学習活動における事故防止等の指導
〇部活動、生徒の活動等で自ら安全確保に努める態度の育成
〇防災訓練等における避難行動及び避難経路等の確認

１学年	２学年	３学年
〇体験を通して安全に関する知識を理解し、自分自身で身を守る方法を身に付けさせる	〇安全に関する知識を活用し、学校生活や日常生活の中で判断し、行動できるようにする	

安全管理（対人・対物）

対人管理	対物管理
〇学校内の危険箇所への立ち入り禁止の指導をする。 〇登下校時の自転車走行の指導をする。 〇教職員が連携して、生徒の心身の健康状態の観察に努める。	〇校舎内外の安全点検（教職員） 〇消防設備点検（外部業者） 〇理科室薬品点検（年２回） 〇校内巡視点検（毎日） 〇戸締り確認